

国際化学肥料ニュース (2013年3月)

肥料業界の2013年3月動態

- * 世界最大の化学肥料輸入国インドの状況について、3月22日、インド政府は2013～2014年度の肥料補助金総額を10.2億米ドルに決定することを発表した。補助金総額は今年度と同額であるが、尿素に与える補助金率が上がるため、りん安と塩化加里に対する補助金をトン当たり2000～3500ルピー削減する。

加里肥料大手メーカーはインドとの間に2013年上半期塩化加里の輸入価格が確定されたことを受け、3月に計23万トンをインドに輸出した。その内訳はCanpotexが2船3～5万トン、BPCが3船11.4万トン、ヨルダンAPCも1船を輸出した。また、イスラエルICLが上半期に82万トンの契約を締結し、BPCも6万トンの追加契約を結んだ。

インド肥料協会（FAI）のデータによれば、2012年4月～2013年2月、インドの尿素販売量2761万トン、国内生産量2064万トン、輸入量786.6万トン。2月末の尿素在庫量が73.1万トン、昨年同期の2倍になった。従って、2013年度の尿素初入札が4月中旬に延期される。

2012年4月～2013年2月、インドのDAP販売量829万トン、前年度同期より11.7%減、国内生産量334万トン、輸入558万トン、2月の輸入量が0であった。

2012年4月～2013年2月、インドの塩化加里輸入量226万トン、販売量195.5万トン、2月末現在の在庫量22.5万トン。

一方、2012年4月～2013年2月化成肥料の販売量が676.4万トン、前年度同期より29%減、国内生産量584.7万トン、昨年11月以来輸入していなかった。

インドの化学肥料販売量が減少した理由は、インドルピーの為替安傾向や政府の化学肥料補助金の減額により、国内化学肥料の価格が上昇し、農家が肥料使用量を減らすしかなかったとの見方である。

- * 3月1日に北京で開催された「2013年春季窒素肥料市場動態分析会」に於いて、中化化学肥料公司窒素肥料部の担当者は「窒素肥料の国際市場」報告を行った。その摘要は下記の通りである。

1. 2013年、世界経済がゆっくり回復して、各国政府が金融緩和を継続し、原材料価格が上昇傾向にある。また、食糧価格の上昇が農家の化学肥料使用欲を刺激し、尿素施用量を増大させる可能性がある。特にインド等の尿素輸入大国は尿素需要が旺盛で、国際市場価格を押し上げる要因となる。

2. 2012年中国尿素輸出量が695万トンであった。2010年の703万トンに次ぐ2番目多い。

3. IFA 統計によれば、2013 年世界新たに 850 万トンの尿素生産能力が加え、総生産能力が 2 億トンに達する。その中、中国だけで 380 万トンの尿素生産能力を増加し、他にアブダビ、アルジェリア、ベネジエラ等の国にも新尿素工場が完成する。89%の稼働率で計算すれば、2013 年全世界の尿素生産量が 1.776 億トンに達する。
 4. 尿素の需要量について、工業用尿素が 3.7%増の 1970 万トン、農業用尿素が 2.2%増の 1.452 億トンの計 1.648 億トンと予想される。従って、生産量の 7%に当る 1280 万トン尿素が過剰となる。需給関係が一段と悪化する。
 5. インドが依然世界最大の尿素輸入国であり、世界市場の動向に大きな影響を及ぼす。2013~2014 年度、インドの尿素補助金が約 10%増えることになり、尿素の輸入に好影響を与える。2013 年インド国内尿素需要量が 3070 万トンと仮定すれば、国内生産量が 2270 万トン、輸入量が 800 万トンを超える。
 6. もう一つ尿素輸入大国アメリカについては、シェルガスの開発により、廉価のシェルガスを原料とする新規尿素工場プロジェクトがすでに起動している。近い将来、アメリカの尿素輸入量が激減するだろう。
 7. 2013 年中国尿素輸出量が 500 万トンと予測する。中国尿素過剰を軽減するために 350 万トンを下限に輸出すべきである。
 8. 供給過剰により、2013 年の尿素国際市場価格が 2012 年より若干下がると予測する。上半期は大きな価格変動がないが、7 月から中国非需要期に入り、尿素輸出関税が 2%に下がることを受け、価格が急に下がる可能性がある。
- * 3 月 11 日、ブラジルヴァーレ社はアルゼンチン Mendoza 州にある Rio Colorado 加里鉱山の開発と塩化加里精製プロジェクトを中断することを発表した。当該プロジェクトの総投資額 59.2 億ドル、年間 430 万トン加里鉱石を採掘、塩化加里に加工する計画である。ヴァーレ社は現在置かれている経済状況では、当該プロジェクトが会社の資本分配と価値創造に合わないため、中断が最適な策である。ただし、将来経済状況が変わる場合、再開する可能性がある。アルゼンチン政府はその決定に遺憾の意を表した。
- * 1 月アメリカの尿素輸入量が 89.6 万トンに達し、昨年同期より 50%以上増えた。その内訳は中国から 14 万トン、オマーンから 14.5 万トン。2012 年 7 月~2013 年 1 月にアメリカの尿素輸入量が 38%増の 457 万トンであった。
- * アメリカ肥料研究所 (TFI) のデータによれば、北米 2013 年 2 月の塩化加里生産量が 99.5 万トン (純 K2O 換算)、昨年同期より 50%増。また、2 月のりん酸肥料生産量 90.2 万トン、販売量 99 万トン、2 月末現在の在庫量 106.4 万トン。その内訳は、DAP 生産量 52.5 万トン、販売 57 万トン、在庫 52.5 万トン。MAP 生産量 37.7 万トン、販売 42 万トン、在庫 53.9 万トン。

- * イスラエル ICL は販売不振で、2012 年末現在の塩化加里在庫量が 100.6 万トン、2011 年末の 69.9 万トンより 44%増加したと発表した。
- * ベトナム 2 月の尿素生産量が 18.6 万トン、新記録を樹立した。今年 1~2 月の尿素生産量が 35 万トン、昨年同期の 17.4 万トンより 2 倍になった。
- * ベトナム PVFCCo (ベトナム国営化学肥料) の会長が国内尿素の増産を受け、東南アジアに尿素輸出に力を入れ、年間 20~30 万トンを輸出すると発言した。2012 年、PVFCCo はフィリピン、カンボジア、韓国とミャンマーに 10 万トン尿素を輸出した。また、カンボジアに販売会社を設立して、農家に直接販売することになった。

大手各社の営業業績

- * ドイツ S+K は 2012 年売上高 39.4 億ユーロ、2011 年より 1.5%減、経常利益 8.085 億ユーロ (10.5 億ドル)、2011 年より 11%減である。2013 年の経常利益が 7.856 億ユーロと予測している。なお、売上の中に、塩化加里売上高 11.7 億ユーロ、加里肥料とマグネシウム関連製品の売上高 22.9 億ユーロ、2008 年以来の最高となった。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * 3 月 19 日、アメリカ Mosaic 社はサウジアラビア Maaden 社および SABIC 社との間にりん酸塩合弁生産プロジェクトを立ち上げることに合意した。当該プロジェクトは「Waad Al Shammal りん酸塩プロジェクト」と命名し、サウジアラビア北部に建設し、総投資額 70 億ドル、持ち株は Maaden 社 60%、Mosaic 社 25%、SABIC 社 15% である。生産能力は年間 350 万トンりん酸肥料、動物飼料添加物、食品級りん酸、トリポリりん酸ナトリウムである。当該プロジェクトは 2013 年着工、2016 年末に完成する予定である。
- * アラブ首長国のアブダビ肥料社 (Fertil) の新しい尿素工場が 3 月末完成、生産開始した。生産能力 110 万トン/年である。
- * アルゼンチン Profertil 社は傘下の Bahia Blance 尿素工場の拡張プロジェクトのために 1.57 億ドルを投資する。拡張後、Bahia Blance 尿素工場の大粒尿素生産能力 12.3 万トン、アンモニア 1.1 万トン/年の増加を予定する。Profertil 社はアルゼンチン最大の尿素メーカーで、現在 110 万トン大粒尿素の生産能力を有する。

- * カナダ Allana 加里社はエチオピアにある Danakhil 加里鉱山の開発に関する技術報告を発表した。当該鉱山の採掘年限は 25 年、年間 100 万トン塩化加里を生産し、投資額は 5.79 億ドル、別途で港や物流に 6300 万ドルの投資が必要。塩化加里の販売価格が 430 ドル/トンと仮定すれば、毎年の純利益が 1.32 億ドル。

その他

- * イラン通信社 3 月 12 日の報道によれば、イラン政府は将来の 2 年間に尿素の生産能力を倍増して、800 万トン/年にして、世界最大の輸出国になる計画。現在、イランの尿素生産能力が 450 万トン/年、昨年輸出金額 14.5 億ドル、主な輸出先はアフガニスタン、パキスタン、トルコ、シリア等のイスラム諸国。また、イランは昨年世界 60 数ヶ国に 1820 万トンの石油化学製品を輸出し、輸出額が 142 億ドルに達し、サウジアラビアに次ぐ中東第 2 の化学製品輸出国であった。